

富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社 環境報告書

Fujitsu Semiconductor Technology Inc. Environmental Report

2011



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

1. ごあいさつ



富士通セミコンダクターテクノロジー(株)

社長 堀 仁

富士通セミコンダクターテクノロジーは、半導体前工程の製造会社です。2007年に設立されて以来、環境負荷の少ないものづくりをめざした取り組みを行っています。2007年には、環境マネジメントシステムを構築し、ISO14001富士通グループ統合認証を取得しました。

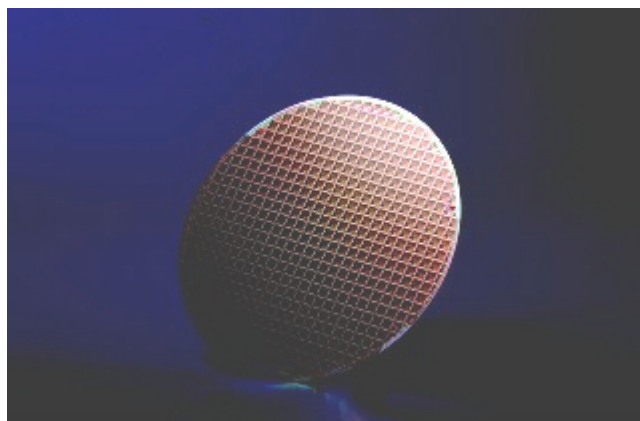
2010年度はPFC(パーフルオロカーボン)などの温暖化ガス排出量を大幅に削減するため、除害装置等の投資を行いました。今後についても地球温暖化防止、廃棄物削減などの環境負荷低減の取り組みを継続していくことにとどまらず、地域社会への貢献活動や生物多様性保全活動の推進に取り組んでいるところです。

今年3月11日には同じ敷地にある富士通セミコンダクター会津若松工場と共に生産ラインで被害を受けましたが、当社社員の懸命な努力により他社に先駆け早期に復旧させて、お客様からの信頼を一層高めることができました。

今後とも当工場は地域の一員として、環境活動の重要性を認識しながら地域と一体となった環境経営をめざしていきます。

本環境報告書をとおして、その環境活動の情報発信をまいりますので、宜しくお願いします。

2. 会社紹介



当社は、半導体前工程の製造工場としてフラッシュマイコン、フラッシュメモリおよびCMOSロジック品を中心とした半導体デバイスの製造・開発を行っております。

当社の製品は携帯電話をはじめとする通信機器、パソコン、カーナビゲーション、ホームオーディオなど幅広い分野に用いられています。

名称:富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社

設立:2007年4月1日

従業員数:774名(関係会社を含む)

事業内容:半導体製造(ロジックLSI他)

3. 環境活動の目標と実績

■ 2010年度の活動目標と結果報告

2010年度より同位置敷地内にある富士通セミコンダクター株式会社社会津若松工場と富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社は、一体となった環境活動を展開しています。
 下記活動目標は二つの事業所を合体させた目標となっていますが、2010年度は全項目とも目標達成しています。
 特に地球温暖化防止活動においては成果を上げています。

2010年度の活動目標	活動結果	達成状況
エネルギー消費によるCO ₂ 排出量を2007年度実績比29.5%削減する	空調改善等により47.3%削減	達成
CO ₂ 以外の温室効果ガス(PFC)の排出量を1995年度実績比+14.5%以下に抑える	除害装置等の導入により4.5%削減	達成
重点化学物質(IPA)の排出量を2007年度実績比41.0%削減する	新規設備導入およびプロセス変更により63%削減	達成
廃棄物発生量を2007年度実績比55.6%削減する	廃棄物の有償化推進により63.1%削減	達成
環境社会貢献活動を3件、生物多様性保全活動を4件実施する	環境社会貢献活動3.5件、生物多様性保全活動5件実施	達成

* 若松地区は2010年度より富士通セミコンダクター、富士通セミコンダクターテクノロジーが統合して活動しています。表の数値は2社の数値を合計したものです。

■ 2011年度の活動目標

2011年度は富士通グループ第6期環境行動計画スタートの2年目となります。3月に発生した東日本大震災の影響がまだ少なからず残っていますが、節電対策を中心として地球温暖化防止(CO₂/PFC削減)や廃棄物削減、そして生物多様性保全活動等に取り組んでいきます。

2011年度の活動目標
エネルギー消費によるCO ₂ 排出量を2007年度実績比43.4%削減する
CO ₂ 以外の温室効果ガス(PFC)の排出量を1995年度実績比2.3%削減する
重点化学物質(IPA)の排出量を2007年度実績比38.1%削減する
廃棄物発生量を2007年度実績比58.3%削減する
環境社会貢献活動を3件、生物多様性保全活動を4件実施する

4. グリーンファクトリー

■ 震災対応状況

3月11日発生の東日本大震災および4月11日の余震により、当工場でも生産設備や建屋の一部に被害が発生しましたが、過去の経験を踏まえた耐震対策と復旧への迅速な対応により、他社に先駆けて3月末には一部操業を再開することができました。

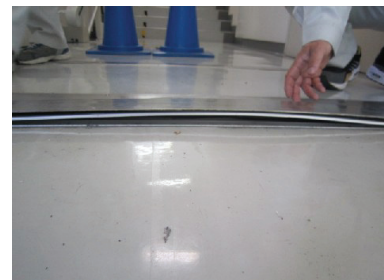
現在地下埋設配管や煙突について精密点検を実施しているところです。



天井非常排気周りボード破損
(震災でのけが人なし)



渡り廊下ジョイント部の破損(外部)



渡り廊下(内部)

■ 2010年度の主な改善事例等

当社では生産工程における化学物質使用量削減による環境負荷低減活動を展開していますが、2010年度は環境影響度の高い剥離液をバッチ式から枚葉式へ変更して使用量の大幅削減を実現しました。また温暖化係数が非常に高いCO₂以外の温室効果ガス(PFC)排出量を大幅に削減するために、除害装置設置や代替ガスの導入をしました。

CO₂以外の温室効果ガス(PFC)
の除害装置



除害装置および代替ガス化の導入により、温暖化係数が高いPFCガスの排出量を大幅削減。

5. 環境社会貢献活動

工場周辺の清掃活動はもちろん、地域清掃活動へ積極的に参加し地域との繋がりを深めています。会津若松市主催の環境フェスティバルへの継続出展により、環境への取り組みを市民にアピールしています。



工場周辺清掃活動



地域清掃活動への参加



会津若松市環境フェスティバルへ出展

6. 社員への環境啓発活動

環境講演会では、会津若松市より講師を招いて「身近な生き物」について講演をいただきました。生物多様性保全の取り組みの一環として実施しましたが、身近な内容で興味深く社員の意識高揚が図られています。



環境セミナー開催



環境施設見学会



環境講演会

7. 安心・安全な工場への取り組み

環境リスク発生の未然予防を目的として、各環境法および条例に準拠した環境分析を定期的実施しています。2010年度は地下水監視体制強化のため、敷地境界付近に観測井戸を増設しました。また安全な職場環境の維持・向上のため、定期的な安全衛生巡回、全職場におけるリスクアセスメントの実施およびパートナー社(58社)との安全大会の開催などを進めています。



観測井戸の増設



パートナー社との地区安全大会

8. 環境に関わる法規制の順守状況

2010年度法規制の順守状況において、最終放流水のBOD値の再測定時に一部サンプルが福島県条例値を超過したため、その状況を福島県会津地方振興局へ報告しました。
一時的に高濃度のBOD排水が流入したものと想定されますが、その後は県条例規制値を越えるような値は検出されず現在に至っています。

9. 環境会計

2010年度は、温室効果ガス(PFC)削減対策として、64百万円の投資を行い、PFC除害装置を設置しました。また資源の効率的利用では、リン酸再生適用によるリン酸削減(12百万円)など、7件のグリーンプロセス活動により、2009年下期と比較すると効果が約10倍となりました。

2010年度 環境会計実績表(単位:百万円)

項目	範囲	費用	効果
事業エリア内費用・効果	公害防止・地球環境保全・資源循環等	251	229
上、下流費用・効果	廃製品リサイクル、グリーン購入等	0	0
管理活動費用・効果	ISO14001、環境教育、環境広報活動等	10.7	0.5
研究開発・ソリューションビジネス費用・効果	製品への環境配慮技術の研究等	0	0
社会活動費用・効果	環境保全団体への寄付、支援等	0	0
環境損傷対応費用・効果	土壌、地下水汚染の修復等	0	0
合計		261.7	229.5

10. 環境マネジメントシステム



■統合認証

富士通グループでは、富士通および国内連結子会社を対象とするISO14001の統合認証を2005年3月に取得しました。さらに、2006年には海外連結子会社を含めたグローバル統合へと統合範囲を拡大しました。

富士通グループWORLD-WIDE統合認証取得年月
2006年3月23日 認証番号:EC98J2005

当社としては、2010年11月に株式会社日本環境認証機構(JACO)の更新審査の結果、ISO14001:2004「適合」と判定されました。

■環境内部監査

当社では、環境負荷状況、環境保全状況の総合的把握、ISOへの適合状況を判定するため、毎年内部監査を実施しています。

富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社

お問い合わせ先

担当部署名:総務部環境管理課
住所:福島県会津若松市門田町工業団地6
TEL:0242-38-1132 FAX:0242-38-1414

発行責任者:堀 仁
編集責任者:鈴木 資和
発行年月:2011年10月
記載事項対象期間 2010年4月~2011年3月
報告URL: <http://edevise.fujitsu.com/eco/>

